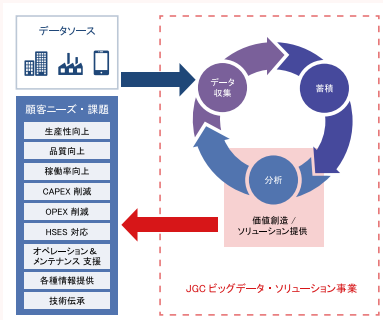


日揮株式会社

ビッグデータ / IoT が紡ぐ世界

昨今、ビッグデータ / IoT (Internet of Things) という言葉が賑わいを見せています。これらはモノがセンサーを介し、インターネットにつながり、そのデータを利活用して、より良い社会を構築するという概念です。この変化が我々の社会にもたらす潜在的効果は絶大であり、センサー・インターネットを介して得られる様々なデータに、データ解析技術を適用することで、日々新たな事業が誕生しています。

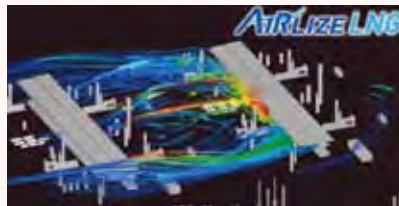
日揮では B2B ビジネスにおける



日揮のビッグデータソリューション事業コンセプト

あらゆる分野のビッグデータ / IoT 事業を推進していますが、中でも、既存事業の最重要顧客であるプラント業界には、自社開発ツールを活用した「異常予兆探索」、「余寿命予測」、「生産性改善」などの顧客のデータ解析サービスを展開しています。「異常予兆探索」では、従来突発的に起きていると考えていた事象の予兆探索を行っています。「余寿命予測」では、触媒や配管腐食の寿命を予測することで、在庫の購入タイミングへとつなげます。「生産性改善」では、LNG 生産プラントの空気の流れや温度を調節することにより、生産量の向上を見せています。

データの利活用が産業の発展に欠かせないツールとなる社会において、エンジニアリング会社がリードして社会を変えていくべく、高度な生産性を達成する次世代プラントを目指したデータの利活用を推進していきます。



LNG 生産プラントにおける空気の流れ